

2022年度 一般社団法人聖路加看護学会 定時評議員会議事録

日時：2022年6月16日（木）18：00～19：30

場所：聖路加国際大学 WEB開催

出席：

評議員：亀井智子（理事長）、有森直子（理事）、野末聖香（理事）、佐居由美（理事）、平林優子（理事）、大久保暢子（理事）、太田喜久子（監事）
飯岡由紀子、宇佐美しおり、江藤宏美、奥裕美、小野若菜子、片岡弥恵子、高橋恵子（選挙管理委員会）、田代順子、中村めぐみ、中村令子、野崎真奈美、林直子、平野かよ子、柳橋礼子、山本あい子、吉田千文

委任状：10通

指名理事：小林真朝（会計）、西垣佳織（庶務）、森田誠子（庶務）

議事録作成者：亀井智子理事長

議 題

- 1 理事長挨拶・黙とう（報告）
亀井理事長より挨拶があった。また、松谷美和子監事の逝去につき報告があり、出席者全員で黙とうを行った。松谷監事の死亡による退任登記をする旨説明を行った。
- 2 出席者数の確認：定款第21条-2
大久保理事より、本日の出席評議員数及び委任状の提出について確認があった。評議員総数は本日付けで33名であり、23名の出席と10通の委任状があったため、過半数を満たし、評議員会が成立することが確認された。
評議員会終了時の出席評議員数は、23名であった。
- 3 議事録署名人の指名：定款第24条-2
中村めぐみ評議員および小野若菜子評議員が議事録署名人に指名され、承認された。
- 4 審議
1) 2021年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
(1)理事会報告
(2)定時評議員会報告
(3)庶務（看護系学会等社会保険連合）
(4)会計
(5)学会誌編集委員会
(6)広報委員会
(7)学术交流委員会
(8)高度実践看護開発検討委員会
(9)第26回聖路加看護学会学術大会報告

資料に基づき、各担当理事より2021年度事業報告がなされた。学术交流委員会報告は、吉田俊子理事の代読を大久保理事が行った。第26回聖路加看護学会学術大会報告は、中山和弘評議員の代読を大久保理事が行った。

資料1(4)会計報告につき、「2020年度会費収入」は「2021年度会費収入」の誤字である旨、平林理事より報告があった。

質疑は無く、承認された。

2) 2021 年度決算および監査・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2-①②③④

資料に基づき、決算について小林理事より、監査について太田監事より報告がなされた。
質疑は無く、承認された。

3) 2022 年度事業計画および予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 3-①②③

資料に基づき、事業計画について亀井理事長より、予算について平林理事より説明がなされた。
平林理事より、これまで当該年度の収支のみで予算をたっていたものを、今後は、前年度繰越
金を含めた予算をたてていくことを次回理事会より検討していくと報告があった。

吉田評議員より、会費納入率が低い理由について質問があった。平林理事より、事務局に
て納入促進に努めているものの納入されないこと、納入されないまま会員資格喪失に至る場合
が多いことが説明された。亀井理事長より、学術大会での発表のために入会し、単年度で退会
する会員が多く、会員を継続して頂くための魅力的な事業を考案する必要があると説明があっ
た。

江藤評議員より、学会誌発刊数が 4 回に増えたことやオンラインでの発刊となったことと予算
増加分との整合性（委託費の増額分は 2 回分発刊が増えたということか）、学会誌の巻号のつ
け方について質問があった。また、投稿数を増やすためには筆頭著者以外の会員資格を求めな
いことも一案であると意見があった。平林理事より、2021 年度予算は項目上印刷製本費の中に
オンラインでの発刊にかかる委託費を計上しており、2022 年度は委託費に項目を一括したこと
により増額された旨説明があった。有森理事より、投稿論文が無い場合は発刊しない場合も想
定していること、巻号のつけ方は検討中である旨説明があった。また、投稿数増加のためにも
迅速査読につとめ、筆頭著者以外の会員資格についてはこれまでも検討した経緯があり、今後
も検討していく旨説明があった。

片岡評議員より、新入会員数の推移や入会案内の方法について質問があった。亀井理事長およ
び大久保理事より、入会案内は入学式・入職式等でリーフレットを配布していること、入会数
に比し退会数が多い傾向が続いており会員減少傾向となっていることが説明された。

以上質疑応答を踏まえ、2022 年度事業計画および予算は承認された。

4) 次期理事の選任・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 4

資料に基づき、選挙管理委員長である高橋恵子評議員より下記の理事が当選したことが報告さ
れ、全員が承認された。

有森 直子、大久保 暢子、片岡 弥恵子、佐居 由美、平林 優子、柳橋 礼子、吉田 千文 (7 名)

5) 役員の就任・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 5

松谷監事の後任として、定款に基づき役員選挙の次点者である井部俊子評議員が後任に
選任され、承認された。

太田監事より、松谷監事の退任にかかる経緯について確認があり、亀井理事長より再度経緯の
説明があった。松谷監事より、5 月 23 日付で亀井理事長へ監事退任の申し出があり、受理した
ものの、定時評議員会前にご逝去されたため退任登記をすることとなった。松谷監事において、
事前にご退任の意を表されていたことを確認し、承認された。

6) 周年事業の提案・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 6

亀井理事長より、資料に基づき説明がなされた。

吉田評議員より、“看護開発センターとして、聖路加看護学会のプレゼンスを高め”の表現について、聖路加国際大学との関係性の質疑があった。亀井理事長より、本学会と聖路加国際大学とのつながりの強さ、聖路加国際大学における他学にはないWHOの特色を強調した表現であり、このことが明確に伝わるような表現に検討する旨説明があった。

片岡評議員より、アーカイブ化に伴うランニングコストの学会財政への影響が指摘され、予算等を吟味したうえで周年事業の具体化をする必要があると指摘があった。亀井理事長より、非会員からのアーカイブ視聴料をコストにあてることもでき、これらを検討し具体化をしてほしい旨回答された。

小野評議員より、本学会の歴史や沿革についてもアーカイブに加えることが提案された。以上質疑応答を踏まえ、周年事業の提案は承認された。

次期理事打ち合わせのため 1分間の休憩

次期理事は一時退室し、次期代表理事を選定した。

5 報告

1) 2022年度名誉会員について（木村登紀子氏の学会への貢献について）

亀井理事長より、名誉会員を理事会にて推薦し、ご本人からも承諾が得られたことが報告された。木村登紀子氏の功績について紹介がなされた。

2) 第27回学術大会進捗報告

2022年度 第27回学術大会日程：2022年9月18日（日）

9月25日～10月25日オンデマンド配信（一部ライブ配信）予定

有森理事より、学術大会ホームページの共有がなされ、第27回学術大会の日程、開催方法、プログラム概要、準備の進捗状況が報告された。

3) 第28回学術大会会長挨拶

2023年度 第28回学術大会日程：2023年9月予定・・・資料7

第28回学術大会大会長である吉田千文評議員より、大会テーマ、開催期間、開催方法、企画運営体制等について報告された。

4) 第29回学術大会会長について報告

亀井理事長より第29回学術大会大会長として野崎真奈美評議員が紹介され、野崎評議員より挨拶があった。

5) 2023年度 評議員選挙について・・・・・・・・・・・・・資料8

高橋評議員より、資料に基づき次期評議員選挙の日程の説明があった。次期評議員選挙終了後、次期理事・監事選挙を施行することも説明された。

6) 次期理事の紹介

片岡弥恵子氏が理事長となった旨発表があった。各理事の担当について、学会誌編集委員長に有森理事、学術交流委員長に吉田千文理事、高度実践看護開発検討委員長に柳橋理事、広報委員長に佐居理事、庶務に大久保理事、会計に平林理事が発表された。

小林、西垣、森田各指名理事が紹介され、承認された。

以上

【配布資料】

資料1：2021年度事業報告

資料2-①：2021年度3月期決算書

資料2-②：2021年度決算報告書（全体）

資料2-③：2021年度決算報告書（部門別）

資料2-④：2021年度監査報告書

資料3-①：2022年度事業計画（案）

資料3-②：2022年度予算書（全体）

資料3-③：2022年度予算書（部門別）

資料4：2021年度（令和3年度）理事選挙結果について

資料5：役員 の 就 任

資料6：周年事業の提案

資料7：第28回聖路加看護学会学術大会ご案内

資料8：2022～2023年度評議員・役員（理事・監事）選挙スケジュール